

第9回 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会
会議録（概要）

日 時	平成28年3月25日（金）午後2時00分～午後3時40分
場 所	豊栄のさと 2階 視聴覚室
出席者	委員 (8名) 金谷健 橋本征二 桃瀬公成 嶋中まさ子 西澤一弘 七里咲江 中山進 土田雅孝（順不同）
	オブザーバー (6人) 卯田隆 宮川伸夫 北川徹 上田文夫 山田禎夫 安藤一成
	事務局 (6人)
	コンサルタント (3人)
欠席者	委員 (3名) 善定亮太 松本光右 平山奈央子
次 第	1 開会 2 新しい委員の紹介 3 委員長あいさつ 4 議題 (1) 総括……………資料1 第1回から第8回選定委員会までの中間報告 (2) その他……………資料2 公募に係る第2回説明会の報告 5 閉会

会議内容	
1 開会 2 新しい委員の紹介 3 委員長あいさつ 4 議題 5 閉会	
1 開会	【事務局】 少しお時間早いのですが、委員の皆さま、お集まりいただきましたので、第9回彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会を開催させていただきます。本日は3名からご欠席の連絡を受けておりますが、8名の委員にご出席いただいておりますので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

2 新しい委員の紹介

【事務局】 このたび3月22日付の人事異動に伴いまして、彦根警察署交通課長が変わられました。「彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会委員の資格等に関する内規」第4条に、「充て職委員が欠員となった場合は当該者の後任者が残りの任期の補充委員となるものとする」となっております。そこで、善定亮太氏を後任の委員として委嘱したいと思います。本日、他の公務と重なりましたので、ご欠席いただいております。本来ですと、この場で委嘱状をお渡しさせていただくのですが、後日、お渡しさせていただきたいと思います。それでは、次第3および4に進みたいと思います。委員長、進行をよろしく願いいたします。

3 委員長あいさつ

【委員長】 それでは、皆さんありがとうございます。今日は第9回ということで、これまでの中間報告ということでご報告いただき、ご質問をいただいて、必要な修正をするというようなことがメインになるかと思っております。よろしく願いいたします。議題(1)の総括ということで、第1回から第8回選定委員会までの中間報告を資料1に基づいて事務局からご説明をお願いします。

【事務局】 議題の総括に入らせていただく前に、1つ委員の皆さまにご確認させていただきたいことがございます。第6回の時に皆さまからご意見をいただいております「応募いただいた現地に委員の皆さままで見に行っていたかどうか」ということについて、第7回にて事務局から「現在検討中」ということと、例えばグーグルアースやビデオ等を選定委員会にて流し、事務局から説明させていただくといった提案をさせていただいております。また、「現地に足を運んだほうがいいのか」、「現地だけではなく周りの状況等も含めて見ることもできるのでは」というご意見もありました。最終的には確定をいただけておりませんでしたので、ここで皆さまにお諮りさせていただきたいと思っております。第7回、第8回で事務局から申し上げたとおり、現地を見に行っていたときには、バスでは入れない場所もあろうかと思っておりますので、普通の公用車で何台かに分かれて回ることは可能です。

【委員長】 応募地の現地視察については、やるか、やらないかのどちらかですが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。

【委員】 できましたら、現地は一度、選定にあたって見せていただくほうがよいかと思っております。

【委員】 それで結構だと思います。案で提示いただいたように、分かれて行くとか目立たない方法のほうがいいのかと思います。

【委員長】 基本的には現地視察をした上で選定を行ったほうが、説得力があると思います。例えば応募地の状況の説明やビデオ等の視聴など、前もって情報を得た上で視察を行えば、短時間でもかなりいろんなことが分かるんじゃないかと思っております。実際に行かないと分からないこともたくさんあると思います。候補地がどれくらい出てくるか分からないので、具体的な日程等は今の時点では決められませんが、方法については事務局で考えてもらうことにして、現地視察は基本的にするというのでよろしいでしょうか。

【全委員】 (異議なし)

【事務局】 そうしましたら、事務局で視察方法を考えさせていただきますので、次回の選定委員会以降になろうかと思いますが、ご報告をさせていただきます。

結論

- ・応募地の現地視察は実施することとし、方法については事務局が検討する。

議題（1） 総括

【委員長】 議題（1）の説明をお願いします。

【事務局】（議題（1）総括、資料1-1）の説明

【コンサルタント】（議題（1）総括、資料1-2）の説明

説明要点

- ・第8回までの選定委員会の議論を、中間まとめとして報告した。
- ・これまでの建設候補地を断念した経緯等から、透明性・住民目線を確保した選定を行うための第三者機関として、選定委員会を発足した。
- ・公募要項の検討やごみ処理施設の視察、選定要件の検討等の協議を委員会で協議により確定していただいた。
- ・今後の予定としては、応募期間終了後に各種調査を行い、調査結果や議論を踏まえた審査結果について、管理者会への報告を選定結果報告書としてまとめる。
- ・その選定結果報告書のイメージを説明した。

【委員長】 議題(1)総括の中間報告等につきましてご質問やご意見などよろしくお願ひいたします。

【委員】 p.6の表5の表現が分かりにくいです。p.9の評価基準に細かい計算方法が載っているので、ここは「最も良い地区を3点として値を換算する」等で表示したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

【事務局】 計算式による採点につきましては、最高点が3点となりますが、小数点第2位以下を四捨五入して出すことになっています。

【委員】 小数点に関してはそれで分かりますが、この表を見たときに分かりにくいです。

【委員長】 表5の評価欄の左側に、「評価基準の判定に応じた点数」を作成し、ABCの左側に、「評価基準による判定」、計算式の左側に「相対的に判定による計算式に対応」等の文言を併記してはいかがいですか。また、「評価方法がどの評価項目に該当するか」を記載してもいいかと思います。

【事務局】 わかりやすいようにコメント等を付けて訂正します。

【副委員長】 表8のスケジュールは、第10回と11回は同時開催でもよいのではないのでしょうか。また、10～15回まで非公開と記載したほうが明確だと思います。それから、最終報告書（選定結果報告書）は、管理者会に報告する報告書ということですか。

【事務局】 そうです。

【副委員長】 最終報告書を公表するわけではなく、審査結果を公表するということですね。

【委員長】 2つ目の指摘について確認ですが、資料1-2は、応募地ABCになっているのは、公表を前提としたものですね。

【事務局】 そうです。この資料は応募地が隠れています。どこまでをホームページに載せるかということは、まだ詳細までは決まっておりませんが、管理者会への報告はどこからの応募があったかというのが分かる形になります。

【委員長】 この資料1-2に、公表版とはっきり書いたほうが誤解はないと思います。

【副委員長】地図が載っているから公表しない版ではないでしょうか。

【委員長】さっきの説明では、地図を特定できない範囲で載せるということでした。特定できない範囲がどういうイメージが分かりませんが、この資料は公表することを前提としたものですよね。

【事務局】どういう形の報告書で出したほうが分かりやすいのか、どこまでを公表するか、どういった項目までを公表するかという部分は、今後の選定委員会等での議論になると思います。

【委員長】第10回選定委員会にそのことと先ほど指摘があった一次審査と公表版と管理者会に提出する報告書のイメージを検討内容に入れたほうが良いと思います。

【事務局】はい、分かりました。

【委員長】現地視察は一次審査を通過したところに行き、時期は9～10月頃に実施してはいかがでしょうか。第11回選定委員会で行うとしてはどうですか。それから、気づいた点は資料 1-1 の中間報告の冒頭に委員名簿や選定委員会設置要綱も載せて、その要項に基づいて選定を行っているということを明記したほうが良いと思います。つぎに「2. 選定委員会における検討経過」に、詳細は「組合のホームページ参照」と記載しておけば概要と分かります。あと、各回について、公開・非公開を明記されてはいかがでしょうか。p.4について、2行目に「最終的な公募要項は」ではなく「最終的な公募要項の概要は」としたほうがよいと思います。これを見て応募する人が誤解のないようにしたほうがよいので、「応募者の資格」を「応募者」に変更し、これから応募する人のためになる内容として、提出書類や提出先を記載したほうがよいと思います。地域振興策は、自治会に対して支払うことを明記したほうがよいと思います。最後に、今さらですが全体的に「評価」、「審査」、「選定」という表現があり、類似しているので、「評価」と「審査」は一本化してもよいかもしれません。「審査結果」は「選定結果」がよいと思います。

【事務局】言葉の表現については、委員長がおっしゃったように、まとめていける表現はまとめていきたいと思いますが、今まで使っている文言なので変更する場合は、しっかり説明をする必要があると思います。公募要項の抜粋については、ホームページを確認することを必須としており、中間報告を公表することは想定していませんでした。公募要項については、抜粋として、最後にホームページで確認くださいと記載する対応でよいでしょうか。

【委員長】わかりました。ただ、本文には「概要」と明記したほうがよいと思います。それから、p.10表8の※3の2行目に、管理者会での最終決定とは、土地所有者との交渉後か、交渉前かどちらでしょうか。

【事務局】交渉は、あくまで管理者会が「最終候補地」と決定した後になります。

【委員長】そうであれば、表現を変えておいたほうが良いと思います。つまり、第1候補地として決定したということを公表するということですね。p.10の※3の2行目は、主体が違うので消したほうが良いと思います。

【事務局】わかりました。

【委員長】次回の選定委員会は8月頃まで特に行う必要はないと思います。先ほど他施設の視察という話もありましたが、この委員会としては必要ないという気がしますが、いかがでしょうか。

【事務局】委員の方から県外施設見学についての問い合わせもあったので、事務局としても検討していました。滋賀県内では来年度から稼働するところもあり、次回の選定委員会まで4ヶ月ほど空いてしまうため、案として考えていました。委員の皆さんの予定にもよりますが、施設見学の希望があれば、実施を検討したいと思います。ただし、時期的に小学校の見学会と重なる時期で

あり、見学先のスケジュールを含めて検討することになるため、事務局から改めてご連絡させていただくということでしょうか。

【委員長】この委員会は施設をつくる委員会ではなく、建設候補地を検討する委員会なので、公募で候補地を決めた話を聞けるのであれば意味がありますが、それは難しいでしょうか。

【事務局】近隣だと近江八幡市になります。事務局は公募の経緯を伺いましたが、4月から仮稼働、7月から8月から本格稼働の予定のため、(何う時期が)試験運転の時期のため、お時間がいただけるかどうかは不明です。

【委員長】用地選定の経過を知っている当時の担当者に話が聞ければ良いと思います。事務局は実施の可否を含めて検討してください。

【事務局】それでよろしいでしょうか。

【全委員】(異議なし)

【委員長】その他特になければ、これまでの意見について修正したものを中間報告としてください。

結論

- ・資料1-1 中間報告書について、委員からの意見を基に修正する。
- ・選定結果報告書(イメージ)について、委員からの意見について修正したものを、公表版と非公表版(管理者会提出版)に分けて次回提示する。
- ・県内施設の見学について、事務局は実施の可否を含めて検討する。

議題(2) その他

【委員長】議題(2)の説明をお願いします。

【事務局】(議題(2) その他、資料2)の説明

説明要点

- ・平成28年3月5日(土)午後2時から彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地公募に係る第2回全体説明会を行った。
- ・第8回選定委員会(2月22日)で確定した応募地の評価方法について、重点的に説明を行った。
- ・自治会等で簡単に視聴可能なごみ処理施設の紹介動画として、東京二十三区清掃一部事務組合のホームページに掲載されている「東京23区清掃工場」の動画を紹介した。
- ・自治会等において利用していただくことを想定し、これまでの選定時等に住民の方々からいただいた施設に関する質問等について、回答をまとめたものをチラシにまとめて配布した。

【委員長】p.20の回答6の3行目にある「補償」という表現は、質問者が「補償」と表現するのは自由ですが、地域振興策と意味合いが異なるため修正したほうがよいと思います。補償というのは何か被害があったときにそれに対して償うものなので、被害が前提なわけです。地域振興費はそういうものと違うと思います。

【事務局】修正します。

【委員長】全体を通して、他にご意見ありますか。

【副委員長】今後、資料1-2 選定結果報告書(イメージ)を埋める形で進めていただけると、報告書のとりまとめが1回の委員会開催で済むと思います。

【事務局】わかりました。

【委員長】今後、第12回、13回が一番重要になると思います。個人情報の保護上、事前配布はできないと思いますが、初見では厳しいため、選定委員会とは別に、事務局の事前説明、予習が必要だと思います。第10回のスケジュール確認の際にでも検討したほうがよいと思います。

【事務局】以前から委員長にはご指摘いただいていたのですが、資料の持ち帰りや郵送は避けたいと考えているため、事前に事務局から各委員に説明に伺ったほうがよいと考えていました。選定委員会の1カ月前ぐらいに資料を持って皆様へ伺い、それを点数の参考にして選定委員会を開催した時に点数をつけていただくという運びで考えております。

【委員長】1ヶ月前はかなり厳しいと思いますが、選定委員会開催の1～2週間前を目処に、説明を想定しているということですね。近江八幡市への見学は、事務局としてはどのような方針でしょうか。

【事務局】現時点での候補は近江八幡市しかありませんが、4月から試験運転という状況を見ると、実際は難しいと思っています。今後の予定としては、応募の締め切り以降に第10回を開催することと考えています。

【委員長】近江八幡市を含め公募でされたところの事例紹介が可能であれば第10回で報告いただくという位置づけでしょうか。

【事務局】第10回は、応募を締め切った翌月の8月頃を予定しております。今の時点で委員の皆様の予定を押さえてよろしいでしょうか。

【委員長】第10回に一次審査を含めるかどうかによりますが、8月下旬か9月上旬が現実的ではないでしょうか。その予定を今この場で決められるのでしょうか。

【事務局】この場では難しいです。人事異動等でオブザーバーや事務局の職員が代わる可能性もあります。今の質問は、何ヶ月くらい前であれば予定の調整が可能かを確認させていただきたかったためです。

【委員長】7月中旬に事務局とコンサルでスケジュールを決めて、第10回開催前か、開催と同時に、その後の日程を決めたほうがよいと思います。一次審査はかなり機械的なものですよね。実際に二次審査する候補地の数が決まれば、その後の調査作業もだいたい見当がつくと思うので、そこで決めてはどうでしょうか。

【事務局】わかりました。応募状況を見ながら、皆様にご連絡したいと思います。

【委員長】応募された自治会にお住いの方は委員から外れることになっているため、別の委員を探す必要を考えると、早くて8月末くらいではと思います。

【事務局】各市町の担当課長がオブザーバーとして委員会に参加しているため、候補者の目星はついていますが、年度が替わりますので、再度担当課長に依頼をしたいと思います。

【委員長】そうでしたら、今回の選定委員会を終了したいと思います。

結論

- ・ 選定報告書を埋める形で進める。
- ・ 次回以降のスケジュールは、応募状況に応じて事務局で検討し、委員の方々へ連絡する。
- ・ 応募地の評価にあたっては、選定委員会開催前に事務局が各委員を訪問し事前説明を行う。